平成 30 年度第 2 回花卷市立図書館協議会 会議録

1 開催日時

平成 30 年 11 月 28 日 (水) 午前 10 時 00 分~午前 11 時 20 分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

- 3 出席者
 - (1)委員(8名)

菊池一英委員、阿部久幸委員、市川泝委員、佐々木さつき委員、 熊谷恵委員、坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、白藤祐三委員

(2)事務局(8名)

市川生涯学習部長、藤原生涯学習課長、梅原花巻図書館長、 久保田大迫図書館長兼花巻図書館副館長、盛田石鳥谷図書館長、 菊池東和図書館長、伊藤花巻図書館業務係長、黒澤石鳥谷図書館主査

- 4 欠席者
 - 2名(門馬優子委員、高橋則子委員)
- 5 傍聴人

4名

- 6 議題等(議事録)
 - 会議成立の報告(久保田大迫図書館長兼花巻図書館副館長)
 - ・委員10名中8名出席。出席委員数が構成委員の過半数を超えているので、花巻 市立図書館協議会規則第7条により、本会議が成立することを報告。
 - 1 開会(久保田大迫図書館長兼花巻図書館副館長)
 - 2 あいさつ (坂本会長)

皆さんおはようございます。お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日は、市立図書館発展のため、皆さんから忌憚ないご意見をいただきたいと

思います。短い時間ではありますが、充実した時間としたいと考えておりますので、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

- 3 議 題 (図書館協議会規則第6条により、会長が議長となる)
 - (1) 平成30年度花巻市立図書館の事業実施状況等について 平成30年度花巻市立図書館の事業実施状況について、(平成30年度上半期

の実施状況を)花巻図書館から順番に各館が説明。

花巻:伊藤係長、大迫:久保田館長、石鳥谷:盛田館長、東和:菊池館長 (質 疑)

(○坂本会長)

それでは、今までご説明いただいた事柄に関して、ご質問とご意見をいただき たいと思います。各図書館それぞれいろいろな工夫をして、前に比べてページ数 が増えたと思うところです。

(○佐々木委員)

各図書館とも本当に特色のある企画や展示があり、本当に頭が下がります。一つ質問ですが、大迫図書館のくじ引きについて、大吉とか、吉とか今拝見しましたが、大吉には「すごいお薦め」とか、吉にはこうだとか、そういう意味合いがあるのでしょうか。くじだから、吉とかの振り分けをされていると思いますが、私個人的には、残念とか小吉などを引くと"う~ん"と思ってしまうので、そこを教えていただきたいと思います。

(○久保田大迫図書館長兼花巻図書館副館長)

くじは、大吉や吉などの種類がありましたが、大吉であれば、「すごいお薦め」というわけではありません。くじを引いていただく楽しみということで、当たることを楽しめるように大吉や吉という種類を設けましたが、本の内容としては、お薦めの本やロングセラー本、いわ100の本になります。

ちなみに大吉には、児童書の『はらぺこあおむし』ですとか、『漫画君たちはどう生きるか』、『岬のマヨイガ』、『世界を変えた100の本屋さん』などの本がありまして、一般の方向けには図書館や図書にちなんだ本を入れてあります。

実際にくじを引いて、本を借りて行かれる方もいらっしゃいましたし、くじを 5回引いても『やっぱり、俺普段読むような本がないから』と言って、自分が普 段借りているジャンルの本を、いつも通り借りていく方もいらっしゃいました。

あくまで、くじを引いて当たった本を強制的に借りていただくということではなく、くじを引いて当たった本に興味を持ち、それを手に取っていただけるのであれば、今まで読んだことのない分野にも、興味をお持ちいただけるのではないかという意図で企画しましたので、大吉とか吉という種類分けは、くじを楽しん

でもらえるよう設けたところであります。

(○白藤委員)

私は感想ですが、この前の石鳥谷図書館のギャラリー展『北村敦子作品展』にたくさんの方が見に来ていると思われますが、あんなふうに作品を発表したいと思っている方は、潜在的に結構いると思います。私が行ったときには、本人がきれいな絵葉書で皆さんに自分の作品展を紹介していました。図書館サイドでも積極的に、そういうイベントを公募し、皆さんに見てもらう機会をつくっていただければいいと思います。

それから東和図書館で行っている、他館にはない文化施設等連携企画展は非常に大事なことだと思います。それぞれの地域に、いろいろな文化施設がありますが、その施設と連携していただければ、お互いにいい活動ができると思います。それからやはり東和図書館で行っておりますワークショップですが、図書館でもこういう活動を行っておりますということで、ワークショップを指導してくれる方や内容をどんどん充実させて、皆さんに参加してもらうように取り組んでいただきたいと思います。以上、感想です。

(○市川委員)

各館とも読書意欲を高めるために、いろいろと職員の皆さん方が創意工夫しながら、努力されていることが本当に分かりますし、素晴らしいことであり、今後も続けていってもらいたいと思うところですが、そのことで職員の方々の仕事がどんどん増えていくのではないかと、そんな心配もされるところです。

その辺の職員体制は、現況では、企画やイベントはできる範囲の中で行っていることと思いますが、以前に比べて市の職員が全体的にかなり減ってきているとも感じているので、図書館の場合そういう面では、どういった状況になっているのですか。

(○梅原花巻図書館長)

充実した企画を各館で実施しようと思いますと、やはり人員体制が問題になってきますが、現状として図書館ではシフトを組んで通常業務を行っておりまして、企画イベントがあるときのシフト部分で、どうしてもカウンター業務等が手薄になるときには、非常勤職員や臨時補助職員のように、継続して雇用している方ではなく、その時々にお願いし勤務していただく方を雇用しながら、対応するようにしております。

やはりイベントがあるときに普段通りの職員数だけでは、お客様のレファレンスなども行っておりますので、図書資料の貸出業務などの通常業務が手薄になってしまいます。そうなりますと、本来の知の拠点施設としての機能が手薄になってしまうことになりますので、職員の人数に限りはありますが、その辺を工夫し

ながら業務を行っております。ただ、たくさんの方に来館していただき、イベントをきっかけにして本を読んでいただいたり、図書館を利用していただきたいと思いますので、そういったイベント的な業務も、できる範囲でということにはなりますが、通常業務とともに両方頑張っているところでございます。

(○坂本会長)

今のお話しは、特にも部長さんにしっかりと聞いていただいて、手厚い配慮をお願いしたいと思います。他にございませんでしょうか。

(○菊池委員)

私も大迫図書館のくじに、ちょっと興味を持ちました。実は、本校湯口小学校でも読書量と読書人数を増やすための取り組みとして、一つ同じようなことを行っております。それは、くじを引くのではなく、何冊かの本の中にしおりのようなものを挟んでおき、その本を読んでしおりを何枚か集めると「何かいいことがあるよ」といったものです。物理的なものですが、「これ読んだら何か挟んであった」、「今度どの本に挟んであるかな」といったように、読んでほしい本に何かを挟んでおいて、それをいっぱい集めるとか、いろいろな取り組みができます。一般の図書館でも、こうしたことがあれば、利用者の方たちがわくわくして、本を探すのではないかという気がします。

ただ一つ弊害がありまして、最初の頃ですが、どの本に挟んであるのか、本を読まずにしおりだけを探すということがありました。しかし、それは最初だけで、「そういうのはだめだよ」と指導しながらやっていくと、本当に興味を持って「あっ、あった」というように本を読む子がどんどん増え、読書人数は増えましたし、読書量を増やしている子の人数もかなり伸びました。おもしろい取り組みでしたので、ぜひ参考になさってください。

それからもう一つ、学校図書館協議会のことになりますが、今年も読書感想文コンクールを行いました。昨年度まで、毎年200人位の応募がありまして、応募されたお子さんたち全員に、何とか賞状がほしいと言われておりましたが、予算の関係で昨年までは出せませんでした。今年は、本当に薄い賞状になってしまいますが、応募者全員分を用意してあげることにしております。少しでも読書意欲を高めるということと、やはり応募すれば「それなりの評価をしてもらえる」ということで、市内の小中学校の子どもたちの読書意欲を高めていきたいと思っております。参考までにそういう取り組みを小中学校もしておりますので、情報として提供しました。よろしくお願いします。

(○坂本会長)

はい、とてもいいお話しを頂戴しました。先ほど回ってきたくじの見本を見た ところ、大吉の本でしたか、多分人気の本でなかなか待ち時間があるかと思われ るような本も入っていましたので、これは当たるメリットがある、くじを引いて みたいなと思ったところです。新しい取り組みには、いろいろなことがあると思 いますが、やりながらいい方向に持って行くことができると思うので、ぜひ続け ていただきたいと思います。他にございませんでしょうか。

議長があまり発言するのも何ですが、私も北村さんの作品展に行ってきました。とても素晴らしかったのですが、せっかく石鳥谷図書館は道の駅のところにあるので、道の駅の駐車場から見える場所に、今どんな企画をしているのかという大きいPRをしたらどうなのかなと思いました。

入って行くときに「あれ、石鳥谷の図書館と聞いたけど、ギャラリーはどこなのだろう」と思いながら行ったのですが、出てきたときに「ここにPR看板があれば何となく図書館に来た人ではなくても、ちょっと引っ張られて図書館に足を運ぶのではないか」と思いましたので、いろいろなイベントのPR看板を、道の駅の側に見えるように掲示していただけるといいのではないかと思いました。

あとはございませんでしょうか。それでは、2番目の「読書おもいで帳の交付 等について」をお願いいたします。

(2) 読書おもいで帳の交付等について

読書おもいで帳の交付状況について、梅原花巻図書館長から説明。

(質 疑)

(○坂本会長)

読書おもいで帳に関するご質問ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか、学校図書館の利用でも印刷できるわけですか。

(○梅原花巻図書館長)

学校図書館に読書おもいで帳の印刷機を設置している学校では印刷できます。

(○坂本会長)

全部の学校ではないわけですね。

(○梅原花巻図書館長)

そうです。設置については、教育委員会と学校で決めることになると思いま す。

(○坂本会長)

全部の学校にあれば、どこででも利用できることになりますよね。

(○梅原花巻図書館長)

市立図書館で借りた本は、学校では印字できないのですが、学校図書館で借り た本が印字できる仕組みになっております。

(○藤原生涯学習課長)

生涯学習課長の藤原と申します。よろしくお願いいたします。私から、この読書おもいで帳に関連することで情報提供がございますので、お話しさせていただきます。

先の11月7日に、花巻市議会文教福祉常任委員会の行政視察に同行いたしまして、大阪府和泉市のTRC和泉図書館に行ってまいりました。そこで担当の方にお話しを伺ったところ、この花巻市の読書おもいで帳を参考にして、今年11月4日から和泉市の図書館で、通帳型読書記録帳"ぶっくんつうちょう"というものの発行を開始したということのお話しがございまして、実際図書館でも見させていただきましたが、そのような事前情報もなく行ったものですから、ちょっとうれしくなりまして、そういうお話しがあったということを、情報提供という形で、お話しさせていただきました。

お時間を拝借いたしまして、ありがとうございました。

(○坂本会長)

ありがとうございます。とてもいい情報でうれしくなりますね。全国に先駆けて、という感じでしたので、うれしくなります。

他にございませんでしょうか。中学生は忙しいのでしょうね、阿部先生。

(○阿部委員)

学校の中に図書館がありますが、放課後はそのとおり部活動にまっしぐらです し、昼休みはとなると、今度は委員会活動などで、まずほとんど図書館に行く時 間すらとれないでいるのが実情です。

(○坂本会長)

やはり中学生は忙しいというのは、本当にそうなのですね。

(○阿部委員)

だから本を読まなくていいという理由には何もならないのですが、普段帰り際に図書館に寄りながら帰れるかとなると、またこれもバスの時間などの規制がありまして、花巻地域の学校とは、また違った状況が大迫地域にはあると感じています。

逆に長期休みのときに午前中に学校に来て、帰りまでバス時間がないので、たまに待ち時間などで、大迫図書館へ何人か生徒が寄っています。時間を調整しながら、図書館にはいるわけですが、"図書館にいる"="本を読んでいる"かどうかというのもありますので、それが"本を読む"に結びついていけばいいと思っております。

(○菊池委員)

ちなみに当校隣の湯口中学校では、明日、全校の読み聞かせを行います。そう

いう取り組みを常にはしているのですが、今そういった状況なので、どうしても 時間はないのですが、少しでも興味を持たせようという取り組みの一つです。

(○坂本会長)

やはり隙間時間を見つけてということになりますでしょうか。中学生は忙しいというのは何か痛切になりますが、忙しさに紛れて先ほど阿部先生がおっしゃったように読まなくていいということではないですから、忙しくても本当に読ませたいと思います。何か良い方法があったら、情報をどうぞよろしくお願いいたします。

(○熊谷委員)

湯口中学校で、全校の読み聞かせがあるとおっしゃいましたが、誰かが行って 読み聞かせをするのですか。

(○菊池委員)

図書ボランティアさんです。明日の六時間目だったと思います。

(○熊谷委員)

ボランティアさん一人で、読み聞かせをするのですか。

(○菊池委員)

プロジェクター等を使って行います。

各学年一斉に行うという意味での全校読み聞かせは、時々やっておりますが、 明日の「全校の読み聞かせ」は、全校生徒を一か所に集めて読み聞かせを行うも のです。

すみません日程を訂正します。明日ではなく、今日の六時間目でした。

(○坂本会長)

そうですね。プロジェクターを使って、OHC(Over Head Camera)を使うとできることですよね。絵本でもOHCが今は使えますから。

(○熊谷委員)

各クラスに入って読み聞かせをするのではないのですね。

(○菊池委員)

それはもちろん、小学校の中で時々やっています。

(○熊谷委員)

東和小学校では、月に一回各学年各クラスに入って読み聞かせをしています。

(○菊池委員)

担任以外の教諭が、「この場所でこの本の読み聞かせをやりますよ」というものもやっています。

(○坂本会長)

聞きたい人は来てください、というものですね。

(○菊池委員)

全校生徒が、必ずどこかに行って聞くというもので、私もやりますが、そういった感じのいろいろな読み聞かせの工夫、いろいろなパターンがあり工夫しています。そうでないと、確かになかなか中学校は難しいと思います。

(○坂本会長)

そうですね。

いろいろなお話しを聞くことができました。おもいで帳に関して、他にはご意 見ご質問はありませんでしょうか。

(○佐藤委員)

中学生の"読書おもいで帳の交付が少ない"=中学生が"本を読まない"ということには繋がらないと私は思っていまして、私の娘は中学三年生ですが、中学校で朝読書があり10分間本を読むのですが、その本を図書館から借りていません。それでも朝読書をしているということは、多分お家の本とか、自分で買った本などを読んでいると思われますので、読書おもいで帳を持っていない中学生も、石鳥谷図書館から本を借りていると私は思うのですが、その辺はどうでしょうか。

(○盛田石鳥谷図書館長)

私の感じとしては、読書おもいで帳をつくらなくても、図書館に来ている中学生はたくさんいらっしゃいまして、もちろん本も借りています。確かに私どものPR不足もありますので、その辺は積極的に声をかけていこうかとは思いますが小学生や小学生以下のお子さんですと、他の人が持っているとつくりたいと思うみたいで、小さいお子さんが、「お姉さんがある」、「兄弟が持っている」からほしいとおっしゃることはよくあります。しかし中学生の皆さんは、多数来館して勉強していくことや、本を借りていくことは見受けられますが、それに声をかけたとしても、なかなかそれこそ忙しそうな感じですし、読書おもいで帳交付の手続の問題も若干あるのではないかと思いますので、交付には及ばず、その辺はなるべくPRしながら進めていきたいと思います。

佐藤委員さんのおっしゃるとおり、中学生も図書館の利用はしているし、本も 読んでいるとは思いますが、最終的に読書おもいで帳の発行までに至っていない というような、図書館側から見たところでは、そういった思いがあります。

(○佐藤委員)

先ほど阿部委員さんから、中学生が忙しいという話しがありましたが、部活の他にも定期テストや校外テストなどがあり、本当に一体どこに余裕があるのかというような部分もあります。あと石鳥谷はお祭りがあって、お盆明けから九月の初めまで、ずっと小中学生やそれぞれの地区民で太鼓練習をしますが、太鼓練習というのは順番待ちなので、自分が太鼓を敲かない空いた時間ができます。

そのときはそれぞれが、その時間を潰すためにスマホやゲームなどを持ってきていて、お互いに対話することはなく、太鼓練習だからうるさくて会話ができないということもありますが、それぞれがスマホやゲームをする。今はスマホを持っていない人の方が少ないという現状ですから、そういうスマホの魅力やゲームの魅力があって、二人でやるとかオンラインゲームとか、いろいろありますが、それを友達と一緒にする。そのような中で"孤独、個人的にする読書"、"ひとりが自分自身のためにする読書"というように、友達と離れて孤独・個人的な活動をすることは、中学生にはすごく難しいのではないかと思います。

友達から浮かないように、クラスで浮かないようにするにはどうしたらいいだろうか、ということにものすごく心を奪われている中学生が、本当に多いわけです。その中で"ひとり"で本を開いて、"ひとり"で本を読むという読書を、読書の大切さを私たち大人が、どうやって中学生に働きかけたらいいのかというところを、図書館の力や努力もすごく私は感じていますが、そこは一人ひとり大人たちがやはり本を読む大切さというものを伝えていく、努力というかそういったものがすごく今の中学生には必要なのではないかと思っています。

(○坂本会長)

そうですね。中学生にとってはやはり仲間との関わり、それから自分の時間を どうつくるか、本当に難しい問題だと思います。すぐには答えきれないことだと 思いますので、それぞれ近くにいる大人が、きちんと対応することが必要なのか と思います。読書おもいで帳関連はよろしいでしょうか。

それでは次、3番のその他に移らせていただきます。「平成31年度図書館運営 に関する要望等について」を事務局よりお願いいたします。

(3) その他

・平成31年度図書館運営に関する要望等について 平成31年度図書館運営に関する要望等について、梅原花巻図書館長から 説明。

(質 疑)

(○坂本会長)

これは資料はございません。委員の皆さま方からの要望ということなので、皆 さんそれぞれからお話しを頂戴できれば、よろしいでしょうか。今、思っていら っしゃることを一人ずつお話しいただき、その中から要望を汲み取ってくださ い。それでは、菊池委員さんからお願いします。

(○菊池委員)

そうですね。立場上から申し上げれば、学校との連携をどうしていくかという

こと、学校と市立図書館がどのように連携をしていけばいいかということがやは り課題なのかと思います。

図書館から、定期的に図書は借りていて、今日も返す日になりますが、そういう形での連携はしていますが、今後、特にも新しい図書館ができ上がったときに、やはり物理的な行き来ではなくて、これからはオンラインとか、いろいろな形での簡略化されたやり取りでの情報交換がすぐにできるような、あるいは図書をお互いに行き来できるようなことを、考えていかなければいけないだろうというように思っていますし、ぜひそういったことをお願いしたいと思います。

(○阿部委員)

先ほど中学生の読書量の話しが出ましたが、本校でも朝読書などに取り組ませつつ、図書館の本を借りて読んでいるというよりも、確かに先ほど話しがあったように、各自家から持ってきた本を読んでいるものと思いますが、いずれ中学生が読書量を増やしていく取り組みを何かしら、学校の中で時間がないからといって逃げるのではなく、なんとかそういった時間を確保できるようなところに持っていきたいと思っているところです。

それから各図書館から、先ほど一年間毎週のように、本当に隙間がないぐらいの行事や企画を実施していることをお聞きして、多分来年度の計画を立てるときには、今年のものをベースにしながらさらに良いものを、というようになるものと思いますが、学校側も今そうですが業務改善のことが、かなり言われているような時代でもありますので、やはり増やすだけではなくて、思い切って何かを切りつつも、新しい良いものをつくっていくという形にしていかないと。お互いに良かれと思ってやっていることが、大変な重荷になっていくということでは、これまたちょっと違うのかなというように思いますので、その辺の見直しの仕方ということをやはり考えていく必要があると感じて聞いておりました。以上です。

(○市川委員)

先ほどもお伺いした件に関わるのですが、人的な体制については、今の状況の中であまり無理をしないような環境の中やっていくと。それに伴い新しい企画立案をいろいろしていく中で、経費などもそれに伴っていくものと思います。そういう面について、人的配慮とともに読書活動を進めていくための、新しい事業に取り組む経費などについても、十分な配慮を願いたい。以上でございます。

(○佐藤委員)

石鳥谷小学校は、石鳥谷図書館にごく近いと自分では思っていましたが、学区外ということを副校長先生から聞いて非常にびっくりしました。例えば花巻図書館だと若葉小学校は図書館に近く、すごく幸運に恵まれている小学生だと思うのですが、他の地区、例えば矢沢などのように、図書館から離れた地域の子どもた

ちもいます。その地域格差があることによって、親が連れて行かなければ図書館に行けない、自力では行けない子どもたちがいて、それは石鳥谷図書館であれば、団体貸し出しなどの移動図書館車"ぽら~の号"が、そういった地区を回っているわけですが、やはり私としては、図書館がいろいろな企画をして、利用者が来るのを待っている。それも一つではありますが、やはり専門の知識があり、専門の係わりのできる司書の方々が、各小・中学校でアプローチできること、例えば学校では、学校司書や司書教諭を置けない、学校図書館に専門の人を置けないという状況が、もう何年も続いているのですが、図書の専門知識のある人、「こういう本がいいですよ」と薦められる人を、もっと子どもたちの側に行かせる方法を何か一緒に考えたいというように思っています。

(○白藤委員)

要望の前に、普段の私個人的な図書館利用のことで、お願いみたいなものですが、本の傷みや汚れが気になるケースが結構あります。ある程度定期的に、そういうものを重点的にチェックしていただきたいと思います。それから、東和図書館では"図書修理ボランティア"というボランティアの方々の協力をいただいているようですが、できればそういう人たちの協力、先ほど市川委員さんからの話しにもありましたが、職員の負担も多いと思いますので、そういうボランティアの協力を得られるような方法も、考えていただければいいと思います。最後に、本の返却ボックスですが、この前イトーヨーカドーに行ってみました。ちょっと場所が分からずに店員さんに聞いて行きましたが、便利です。特にお年寄りの方には便利だと思います。これについても、もっと広報をしていただきたいと思いますし、設置後まだ時間もいくらも経っていませんが、今までのところどの程度利用されているのか、様子をお聞きしたいと思います。

あと平成31年度の図書館運営についての要望ですが、文化施設との連携という部分にもっと力を入れていただきたいと思います。それぞれに、記念館をはじめとして、新渡戸、イーハトーブ館など、三町にもそれぞれありますので、そういった施設の事業や活動を紹介する、あるいは交流して、皆さんにその施設の内容をさらに紹介するなどで図書館の利用を高めるということも考えていただきたいと思います。

それからもう一つは私も係わっているのですが、坂本会長もそうですが、読み聞かせ活動。私個人的には、児童書と幼児の読み聞かせにいくら力をかけても、それだけの価値があると思っております。読み聞かせの機会はそれぞれ学校でも行っているようですし、そういったグループのネットワークをしっかり把握していただいて、そういう人たちが交互に、いろいろな場所で活動できるような方向に進んでいただきたいと思っておりますので、児童書、幼児書の充実はもちろん

ですが、それを積極的に活用できるようにお願いしたいと思っております。

(○佐々木委員)

せっかく各図書館の素晴らしい企画や事業がありますので、坂本会長もおっしゃられたように、あの手この手で発信し周知して、皆さんに足を運んでもらえるように平成31年度やっていただければと思います。以上です。

(○熊谷委員)

私は、大人がまず本を読んでいる姿を子どもたちに見せることで、結局子ども たちも本を読んでいくようなことになるのではないかなと思います。

大人が子どもに「本を読め」と働きかけることも、もちろんとても大切かもしれないのですが、自分はバタバタしながら、子どもに本を読みなさいと言っても誰も読みたいような感じはしないのではないかなと思いますので、例えばPTAの会員などにまず自分の子どもの前で自分が本を読むように働きかけるなど、本当にお忙しくて大変かもしれませんが、そういう大人に対する働きかけというものを、やっていっていただけるといいのではないかなと思っております。以上です。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。

私は、「みんなでライブラリー」の最初と最後の回に参加させていただきました。最初は"ぎんどろ公園"ででした。初めて"ぎんどろ公園"で開催して、外だからちょっと暑いかなと思ったら、青空のもといい風も吹いて、それから貴重なお話しなども聞けて、とても充実した時間でした。今でもあの爽やかな気分は忘れられません。あれをもっと皆さんにも体験していただきたいなと思いました。天気のことなので、何日と言ってもなかなかその天気までは難しいかもしれませんが、あの企画は素晴らしかったです。

それから、最後は「ポップアップカードを作ろう」というものでした。東和町の芸術家の方に来ていただいて、こう開く飛び出るものがありますよね。絵本でもとても素晴らしいものがあるのですが、それを自分でカードとして作るというもので、実際にやってみました。たいしたことないと思っていたのですが、何と1時間みっちり、汗までかいて作りました。仕上がりは、いまいちでしたので、今日は持って来ませんでしたが、子どもたちにこれは何か工夫すれば作らせられるのではないかな、部品を作ってあげて、それを貼り付ければいいようにさえしておけば、子どもでもできるかなと思いました。そういう素晴らしい企画に、もっとたくさんの人に参加してほしいなと思いました。この企画に職員の方が参加者18人ぐらいのために、もう本当に一生懸命で、下準備から何から御苦労さまだなと思いましたが、もっとたくさんの方にぜひ体験してほしいです。私は2回し

か出られなかったのですが、そう思いました。だからいい企画をしても、見てくれる人が少なかったらもったいないです。何とかいい企画をもっと皆さんに知ってほしいなと思うところです。広報に載っていることもありますが、広報以外で何かないのかなと思いますので、PRのいい方法があったら、その方法でもっとたくさんの人が体験できると、図書館は楽しいところだなと思うのではないかなと思いました。

一応、皆さま方の思っていること、要望等お話しいただきましたが、お話し足りないことがございましたら、はい。佐々木委員さん。

(○佐々木委員)

重箱の隅をつつくようなことを言って申しわけないのですが、資料1の3ページ目の単位が一箇所だけ「○名」になっているところがありますので、「○人」に統一されるよう修正していただいたほうがよろしいと思います。

(○坂本会長)

はい。資料の見やすさについて教えていただきました。 他にありませんか。

(○梅原花巻図書館長)

先ほど白藤委員から、イトーヨーカドー花巻店の図書返却ポストの状況についてお訊ねがありました。図書返却ポストは当初、どのくらいの利用があるのかなと思いながら設置しましたが、予想以上に利用されておりまして、イトーヨーカドーの特売日等にあわせてどっさりと本が入っています。月平均でおよそ300冊の利用があり、7月20日から設置して10月末までで1,054冊、図書返却ポストを利用して返却されています。返却された本の種類を見ると、絵本やコミックが中心ですので、若い子育て世代の親御さんが子どもたちを連れて、夕方買い物に行くついでに利用するのかな、という感じです。

前回の図書館協議会のときに、坂本会長から「せっかく、2階のサービスカウンター付近に、ブックポストを設置したのだから、そばに図書館の行事を貼り出せればいいのでは」と御意見をいただいておりましたが、あの場所はイトーヨーカドー花巻店さんでもいろいろなものを置いている場所ですので、ポスターのようなものは掲示できず、行事のチラシを少し置かせていただいているという感じです。あとはイトーヨーカドー花巻店さんと相談しながら、可能であればもっと増やしていきたいと思っています。

(○坂本会長)

他にはありませんか。はい、市川委員さん。

(○市川委員)

毎回この会議のなかで、新しい図書館建設に向けての情報やお話しがあったの

ですが、今回はないのですか。市川部長もいますし、平成31年度どのような取り 組みをしていくのか、お話しをお伺いしたいと思います。

(○坂本会長)

市川部長お願いいたします。

(○市川生涯学習部長)

議題にはしておりませんでしたが、新しい図書館についてはその他の部分でお話ししようと考え私が来ておりました。新しい図書館については、昨年、皆さまからも御意見をいただいて、基本構想を策定したところであり、今年度それに基づく基本計画を作っていきたいということをお話ししておりました。基本計画の骨子は作り始めておりますが、まだ皆さまに提示できるような状況になっておりません。

それはなぜかといいますと、基本計画で定めたい重要なものに場所と事業費、また建設の事業手法をどうするか、どのような形で建設していくかということがありまして、今までの議会等でも答弁しておりますが、総合花巻病院の場所を含めた"まなび学園"の周辺を候補地としてお話しをしていたところですが、花巻駅の東側周辺、駅に近い場所も良いのではないかということで、今年の7月までかけてUR、都市再生機構に候補地の調査をしてもらったところです。

今までもお話ししておりますが、やはり図書館はまちづくりで非常に重要な施 設であり、将来を見据えたまちなか活性化の施設になるだろうという考えで、い ろいろな要素、交通状況、人口の状況など、調査しながらやっているところで す。総合花巻病院の移転工事も進んできていますので、現在の総合花巻病院の現 況測量もこのほど行いました。思ったよりも傾斜がありまして、岩手県の急傾斜 地にも指定されている場所もあって、事業費がかさむだろうというようなことを 聞いております。また、新しい図書館は中央図書館ということですので、やはり 旧三町からも行きやすい場所、市民が行きやすい場所がいいのではないかという ことで、これまでも花巻駅の近く、あるいは駅前にできないかということを議会 等でも申しており、今のところは、花巻駅の東口を第一候補としてさらに検討し ているところです。事業の手法等もありますし、民間の活力例えばPPP、お聞 きになったことがあるかもしれませんが、民間で建ててもらうとか、建てた部分 を市で買い取るとか、様々な方法がありまして、オガールにある紫波町の図書館 など全国的に有名になっている手法があります。そのような手法の方が経費はか からないとか、その検討にも時間を要します。そのあたりを含めまして、専門家 の意見を聞きながら進めているところですが、もう少ししましたら、建設候補地 や事業費、事業手法もお出ししたいと考えております。そして、皆さまからも御 意見を聞いて、市民からも意見を聞きながら進めたいと考えている状況です。

(○坂本会長)

はい。よろしいでしょうか、質問はございませんか。質問がないようなので。 もう少しというのが、本当に少しであることを願っております。それでは、事務 局でほかに用意している議題がございますか。ありませんか。それでは事務局に お返しいたします。

- 4 その他特になし。
- 5 閉会(久保田大迫図書館長兼花巻図書館副館長)